

高山市エコモデル住宅建設施工講習・見学会 第3回

平成 22 年 3 月 3 日（水） 9:30～11:30

雨水利用の貯水槽

貯水槽内に充填する保水材の特徴と施工上の留意点等について

参加者：市内施工業者、設計事務所、一般市民計 13 名



水槽現場にて説明会開始



施工業者の協力を得て、模型なども使用し、構造、今回使用部材の特徴、などを説明



部材は、ガラス類の再生材を利用した多孔性の部材、比重は 0.4 程度で、空隙率約 50% 構築する貯水槽容量の 50%が有効貯槽量となる。

アルカリ性で大腸菌等の細菌繁殖の抑制効果あり。





透水シート

貯水槽は、地中上部の透水シート(今回 4.0mm)、
と壁ならびに底部は遮水シートで構成

シート接着は、熱溶融接着



今回建物屋根雨水と敷地内雨水を槽内に貯槽し、ポンプにて圧送しトイレ流水に使用



地元では施工実績が稀であるため
終了間際に参加者からの細かな質問あり

全体見学を実施。

1回目、2回目参加者は、前回の講習会以後の進捗状況も見学



終了